玉島 TAMASIMA 地区

地域活動の活性化に向けたワークショップ

VOL. 01

ニュースレター

令和5年10月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和５年９月17日（日）に開催した第１回のワークショップでは、４つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク１　ハタアゲワークショップと自己紹介ワーク

ワーク１では、「玉島地区の地域活動は活発ですか？」、「他の団体や隣の自治会などの活動を知っていますか？」などワークショップに参加されているみなさんが玉島地区についてどのように感じているかをお聞きしました。地域行事を住民のみなさんがとても楽しみにされていることや玉島に住みやすさを感じていることがわかりました。また、自己紹介では、①お名前②ご所属の地域組織③玉島のここが好き！④今のお気持ちを一人ずつ話しました。お知り合いのお顔もあれば、初めましてのお顔もあり、地域で活動するみなさんがじっくり顔を合わせる時間となりました。

第１回　実施概要

日　　時：2023.9.17（日）
14:00～16:00
会　　場：玉島公民館
参加者数：22 人

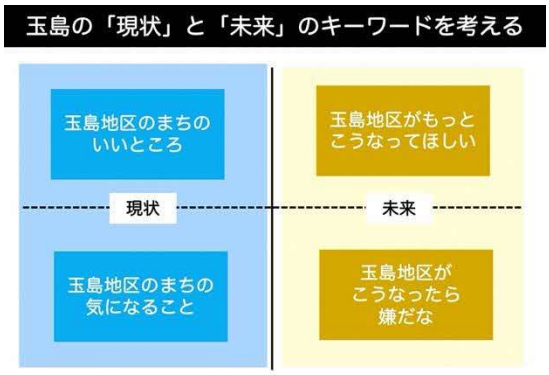
プログラム

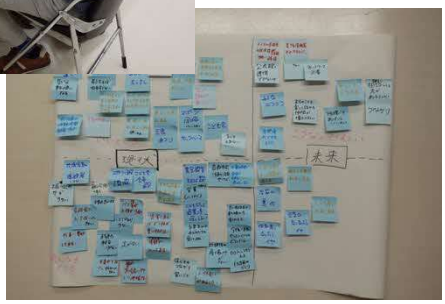
1：会長挨拶
2：ワークショップ趣旨説明
3：旗揚げゲーム
4：参加者自己紹介
5：ワーク：玉島地区の「現状」と「未来」のキーワードを考えよう
6：グループ発表（全体共有）

ワーク２

玉島地区の「現状」と「未来」のキーワードを考えよう

アイスブレイク後のワークでは、田の字ワークシートを使って、「地区のいいところ」「地区の気になること」「地区がもっとこうなってほしい」「地区がこうなったら嫌だな」という玉島のまちや人の「現状」と「未来」を考えました。





地区のいいところ	地区がもっとこうなってほしい
・【自然環境】自然が豊か、田んぼ、畑、緑、公園が多い ・【利便性】京都大阪へのアクセス◎、スーパー多い ・【つながり】各種団体が連携しており、活動が盛ん 人との結びつき、地域付き合いがいい ・【行事】玉島まつり、イベントが多い 、スポーツ盛ん ・【子ども】子どもが多い、通学中の見守り活動 子育てしやすい、習い事が豊富 ・【安全安心】防災意識が高い	・【利便性】交通がさらに便利、商業施設、農地開発 ・【担い手】若い世代の行事参加、自治会加入 転入者も共働き世帯も参加しやすい環境 ・【つながり】あいさつや声かけができる、懇親会 孤立した人がいない、協力企業の増加 ・【子ども】子どもがのびのびと遊べるような地域 子どもが活動できる場所 ・【安全安心】ご近所で助け合える関係性、声かけ
地区の気になるところ	**地区がこうなったらいやだな**
・【交通】バスの便が少ない、交通量の増加 ・【担い手】地域組織への加入減少、退会増加 子ども会の減少、行事への参加者減少 役員の固定化、高齢化、後継者いない ・【子ども】放課後の居場所がない ・【つながり】近隣住民との交流がない 地域行事などの情報がわからない 自治会への新規入会者との交流 ・【安全安心】災害発生時の対応や自然環境の不安	・【自然環境】自然がなくなる ・【つながり】人付き合いがなくなり、疎遠になる 地域活動に無関心、交流がない 地域でのお祭りやイベントがなくなる ・【担い手】子ども会や自治会などの解散 ・【安全・安心】治安が悪化する、子どもが１人で 出歩くことができない地域

次回ワークショップは 10 月 15 日（日）。今回の話し合いで出てきた、玉島校区の「魅力」や「課題」をもとにテーマを設け、ワークショップを行います。